

2024年3月度情報交換会

日時：2024年3月26日（火）14:00～

【発表内容】

1. ハタラクカタチ vol.5の発行について
2. 本学学生らによる米菓商品（せんべい）の発売について
3. 「算額をつくろうコンクール」での奨励賞受賞について
4. 令和5年度ジュニアリサーチセッション（中高生研究発表会）での優秀賞受賞について
5. 大学院科目「共創の技法」公開講座の開催・受講者募集について

2024年3月26日
東北公益文科大学

庄内企業の魅力発信！「ハタラクカタチ vol.5」 冊子発行のお知らせ

大学生の視点で地元企業の魅力や地域で働くスタイルを発信する「ハタラクカタチ vol.5」を発行しました。

ハタラクカタチプロジェクトとは、2019年度よりスタートした本学学生が庄内地域の企業を訪問、取材をし、大学生ならではの視点で「ワーク」と「ライフ」スタイルを発信しようという取り組みです。

2023年度は、5社を取材し、うち2社は社長・代表へのインタビューも行いました。

また昨年度に引き続き、庄内地区商工会広域連携協議会による「庄内地域企業見学バスツアー」にも参加しレポート記事を作成しました。

プロジェクトの趣旨に賛同を下さいました企業様、従業員の皆様からのあたたかいご協力により本冊子が完成しました。みなさまぜひご覧ください。

★ポイント

- 5社、9名への取材、インタビューとバスツアー訪問企業3社のレポートを掲載しています
- 「ワーク」と「ライフ」の両方の視点から取材しました
- 学生主体で、構成・編集し完成に至りました

冊子は、公益大図書館、酒田市役所などに配置しますので、ぜひお手にとってご覧ください。

お問い合わせ

地域共創センター

電話) 0234-41-1115

メール) kyoso@koeki-u.ac.jp

2024年3月26日
東北公益文科大学

本学学生らによる米菓商品(せんべい)の発売について

この度、(株)酒田米菓より、本学地域産業活性化研究所、ならびに本学学生がコンセプトを立案しパッケージをデザインした新商品「ばんけせんべい」が発売されますことを報告申し上げます。この商品は、公益学の視点より「地球環境への配慮」といったキーワードを鑑み、(株)メカニックがソーラーパネル下で栽培する「ソーラー米」を100%使用し、ばんけ(ふきのとう)も庄内産を100%使用しています。

★ ポイント

学生のアイデアと2社の特徴が盛り込まれた商品となっており、地域産業の活性化にも寄与しています。

記

- 製品名：ばんけせんべい
- 特徴：本学地域産業活性化研究所と本学学生がコンセプトを立案し、パッケージをデザインした商品
ばんけ特有のほろ苦い香りがほのかに漂うテイスト
- 発売元：株式会社 酒田米菓
- 原材料：株式会社 メカニックが酒田市石橋地区で栽培したソーラー米(はえぬき)、ならびに庄内産のばんけ(ふきのとう)を100%使用
- おもな販売箇所：酒田米菓直営販売店での限定発売
- 希望小売価格：320円(内容量50g)
- 発売予定日：4月13日

お問い合わせ

経営コース 広崎 心

(地域産業活性化研究所)

電話：0234-41-1254

E-mail：hirosaki@koeki-u.ac.jp

令和6年3月26日

東北公益文科大学

「算額をつくろうコンクール」での奨励賞受賞について

日頃より、東北公益文科大学に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

3月20日(水)第27回和算に学ぶ「算額をつくろうコンクール」(主催:特定非営利活動法人 和算を普及する会)において、応募総数1,883点の中からジュニアドクター鳥海塾第2段階塾生の阿部^{あべ}哲^{てっしょう}奨^{しょう}さん(酒田市立第四中学校3年生)が、奨励賞を受賞しました。

【ポイント】

- 応募総数:1,883点の中より選出されました。
(金賞4点、銀賞8点、銅賞16点、奨励賞17点)
- 阿部哲奨さんは、ジュニアドクター鳥海塾の第2期生であり、第1段階(マスターコース)のプログラムを優秀な成績で修了し第2段階(ドクターコース)へ進級。進級後は本学情報メディアコースの山本裕樹教授より個別指導を受け研究を進めています。
- 阿部さんの研究テーマは「和算を通じた数学問題作成方法の研究」です。

※「和算」とは、江戸時代に日本独自に栄えた数学のことです。

※「算額」とは、当時の数学者や一般の数学愛好家たちが、問題を創ったり解いたりしたものを「絵馬」のようにして神社やお寺に奉納したものです。問題が解けたことを神仏に感謝し、ますます勉学に励むことを祈願しました。

※算額はテレビのクイズ番組や高校・大学の入試問題にも採用され、学校教育でも関心を集めています。

■お問い合わせ

東北公益文科大学
公益ジュニアドクターセンター事務室
Tel 0234-41-1115
E-mail: jd-office@e.koeki-u.ac.jp

令和6年3月26日
東北公益文科大学

令和5年度ジュニアリサーチセッション（中高生研究発表会） での優秀賞受賞について

日頃より、東北公益文科大学に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

3月20日（水）「令和5年度ジュニアリサーチセッション」（中高生研究発表会）（主催：一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム）において、ジュニアドクター鳥海塾第2段階塾生の阿部 哲 奨 さん（酒田市立第四中学校3年生）が、優秀賞を受賞しました。

【ポイント】

- 応募総数：全国各地の中学・高校20校から86件
- 予備審査通過は65件（総合発表：7テーマ、一般発表：58テーマ）
- 当日は各分野ごと6つの教室に分かれて発表。
阿部さんは第1会場（数学・情報）10件の発表で、優秀賞を受賞。（最優秀賞1件、優秀賞は2件）
- 阿部哲奨さんは、ジュニアドクター鳥海塾の第2期生であり、第1段階（マスターコース）のプログラムを優秀な成績で修了し第2段階（ドクターコース）へ進級。進級後は本学情報メディアコースの山本裕樹教授より個別指導を受け研究を進めています。
- 阿部さんの発表タイトルは「和算を通じた数学問題作成方法の研究」です。

※主催の一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムは、山口大学・山口県立大学・山口学芸大学の3大学で構成されています。

■お問い合わせ

東北公益文科大学
公益ジュニアドクターセンター事務室
Tel 0234-41-1115
E-mail : jd-office@e.koeki-u.ac.jp

令和6年3月26日
東北公益文科大学

大学院科目「共創の技法」 公開講座の開催・受講者募集

東北公益文科大学では、公務員、企業、NPO等の方々に、地域課題の解決等に向けたファシリテーションの技法を身につけていただく機会として、大学院修士課程科目「共創の技法」を公開で実施します。

★ ポイント

- ・ 本学教員のほか、加留部貴行氏（日本ファシリテーション協会フェローで、日本ボランティアコーディネーター協会理事・運営委員）がファシリテーションの基礎理論から実践のポイントまで指導いたします。
- ・ 本講座は、すべて土曜日に行います。（全5回、1コマあたり90分授業）

記

○日時：令和6年**4月20日(土)**、**5月11日(土)**、
6月1日(土)、**7月6日(土)**、**8月3日(土)**

※9:00～16:10の間で実施（各回で時間が異なります。）

○会場：**東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール**

○講師：武田真理子（本学教授・公益学研究科長）、加留部貴行氏、栗原穂子氏

○受講料：30,000円（テキストは別途事前に購入が必要です）

○申込方法：電話、電子メールのいずれかで下記6つの事項をお知らせください。

- ①氏名（ふりがな） ②住所 ③電話番号 ④所属（会社・学校名等）
⑤メールアドレス ⑥領収書宛名（氏名以外に指定がある場合）

お問い合わせ

大学院事務室（鶴岡キャンパス）

電話 0235-29-0555